県重要文化財　旧三菱合資会社唐津支店本館

種別	佐賀県重要文化財（建造物）
所在地	唐津市海岸通7181　Google Mapで表示
時代	明治41年（1908）
指定年月日	昭和55年（1980）3月21日
別称（施設名）	唐津市歴史民俗資料館

概要

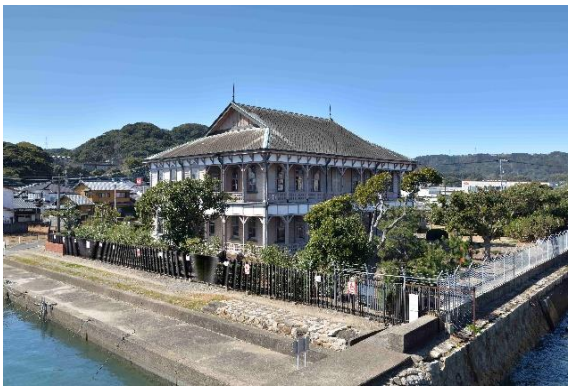
旧三菱合資会社唐津支店本館は、明治41年（1908）に唐津における三菱の石炭販売の拠点として、唐津炭田の石炭積出港であった唐津港に面した埋め立て地に建設されました。

建物の設計は三菱丸ノ内建築所の所長であった保岡勝也（やすおかかつや）です。また、建設当時、三菱の建築顧問を唐津藩出身の曽禰達蔵（そねたつぞう）が務めていました。

建物は、木造二階建ての洋館ですが、屋根は日本を含む東アジアに特徴的な入母屋（いりもや）造りになっています。海に面した北側と東側にはベランダが造られています。また、レンガの基礎や一階廊下のテラゾー（人工大理石）など非常に特徴的であり、県内でも貴重な明治時代の大型木造洋館であることから、昭和55年（1980）に佐賀県重要文化財に指定されました。

昭和54年（1979）からは、唐津市歴史民俗資料館として一般公開を行ってきましたが、老朽化により現在は休館しています。

全景



建物北側の様子

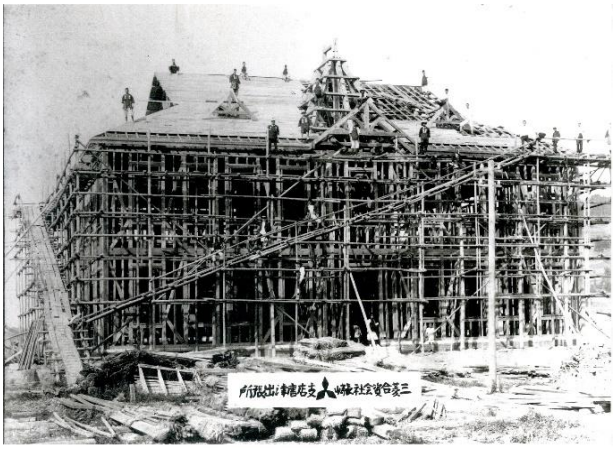
階段手摺アカンサス

１階運炭課室の天井

２階支店長室のカウンター

玄関のテラゾー（人工大理石）

西唐津港（明治後期）［佐賀県写真帖］



建設中の旧三菱合資会社唐津支店本館

問い合わせ
生涯学習文化財課
〒847-0013　佐賀県唐津市南城内1番1号
大手口センタービル6階
電話番号：0955-72-9171